

# 日高町における地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業2年度目)

## 日高町地域公共交通総合連携計画の目標

日高町においては、以下に示す基本方針のもと、「利用者満足度の向上」、「運行経費の削減」、「日高地域-門別地域間の交流促進」を目標に事業計画を立案

### [基本方針]

- 高齢者や子どもが安心して利用できる交通手段の確保
- 地域の特性に適した効率的で持続可能な交通体系の構築
- 地域間の連携を強化し、町の活性化に寄与する交通体系の確立

## 23年度総合事業計画の概要

### 門別地域

- 予約運行方式の導入【厚賀市街地-富川市街地間の新設】
- 予約運行方式の導入【路線バス空白地区への新設】
- スクールバス混乗化

門別地域 実証運行の概要

項目	厚賀市街地 富川市街地間の新設	路線バス空白地区への新設
運行期間	H23.10～H23.11(2ヶ月)	H23.12(1ヶ月)
運行ルート	厚賀駅前 富川市街地	賀張地区 富川市街地
運行本数	平日土曜 2便/日 厚賀太陽線に接続	平日土曜 5便/日
運賃	無料	200円均一 高齢者バス乗車証等の提示で無料

### 日高地域 門別地域間

- 主要施設等の相互利用促進策の実施
  - ・ニーズ把握調査
  - ・実証運行計画の立案

## 日高町地域公共交通活性化協議会開催状況

### 4月28日 第10回協議会を開催

#### 【報告事項】

- ・平成22年度協議会活動結果について 等

#### 【議事】

- ・平成23年度協議会活動計画について
- ・今後の検討スケジュールについて 等

### 6月29日 第11回協議会を開催

#### 【報告事項】

- ・町営バスの運行状況報告 等

#### 【議事】

- ・ニーズ把握調査について
- ・生活交通ネットワーク計画について 等

### 8月26日 第12回協議会を開催

#### 【報告事項】

- ・ニーズ把握調査結果(門別地域) 等

#### 【議事】

- ・実証運行計画(門別地域)について
- ・自家用有償旅客運送の変更登録申請について 等

### 2月9日 第13回協議会を開催予定

#### 【報告事項】

- ・実証運行結果(門別地域) 等

#### 【議事】

- ・実証運行計画(日高地域-門別地域間)について
- ・事後評価について 等

### 3月中旬 第14回協議会を開催予定

#### 【議事】

- ・次年度活動計画について 等

## 23年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

予約運行方式[厚賀市街地 - 富川市街地間]

- 実証運行実施前に厚賀太陽線予約運行方式登録者への電話ヒアリングを実施し、利用者ニーズを把握した。
- 厚賀太陽線予約運行方式の車両を活用することで、厚賀太陽線から乗り継ぎなしで富川方面へ移動できるようにした。

予約運行方式[賀張地区]

- 実証運行の実施前に住民アンケートを実施し、ニーズ把握等を行った。
- 既存の町営バスを延伸させることで、運行経費の軽減を図った。

### 3) 利用実績

予約運行方式[厚賀市街地 - 富川市街地間]

- 10月11月の2ヶ月間の利用者数は延べ24人(実人数7人)。
- 1便に比べ、2便の稼働率が低かった。

実証運行利用実績

行先	富川行き	厚賀行き	合計
便名	1便	2便	
運行時間	9:10 ~ 9:38	13:51 ~ 14:20	
延べ利用者数	22	2	24
運行回数	16	2	18
(稼働率)	(33%)	(4%)	(18%)

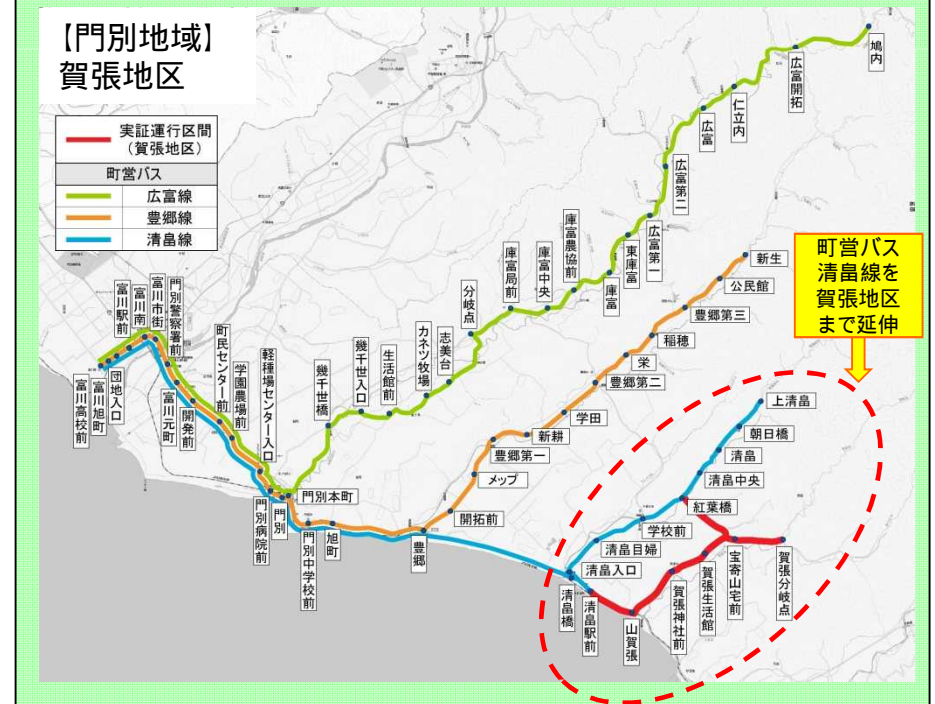
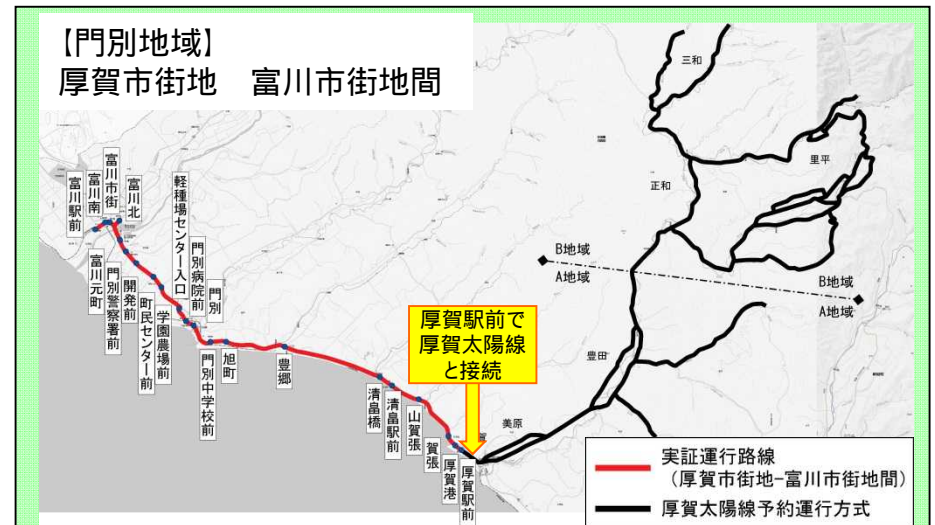


実証運行の様子

予約運行方式[賀張地区]

- 12月の1ヶ月間の利用者数はいなかった。

## 2) 運行ルート



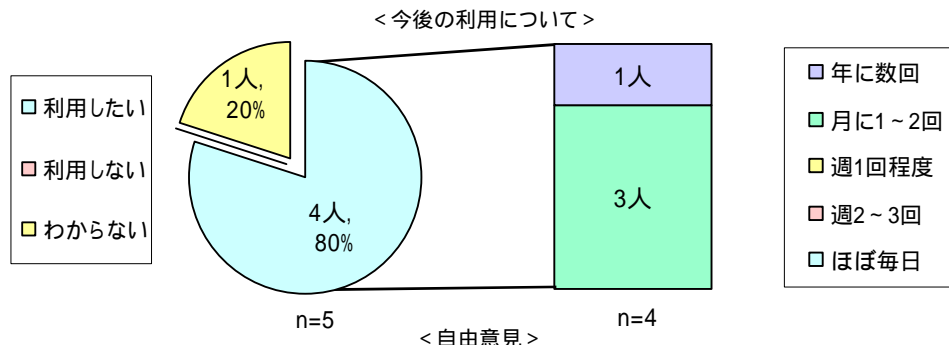
#### 4) 収入実績

収入実績なし

- ・ 予約運行方式[厚賀市街地 - 富川市街地間]は、無料のため収入なし。
- ・ 予約運行方式[賀張地区]は、利用者がいなかったため収入なし。

#### 5) 事業実施効果

- ・ 予約運行方式[厚賀市街地 - 富川市街地]の利用者へのヒアリングでは、約8割の利用者が「今後も利用したい」と回答した。
- ・ 実証運行路線により、「行動範囲が広がる」や「家族の送迎の負担が減った」といった意見も挙がった。



- ・ 待ち時間が減って時間に余裕ができた。
- ・ 予約運行は大変ありがたい。
- ・ 富川方面への移動が便利になり行動範囲が広がると思う。
- ・ 今まではバスの時間が合わず家族に送迎してもらっていたがバスに行けるようになり家族の負担が減った。

厚賀市街地 富川市街地間の実証運行利用者ヒアリング結果

#### 6) 今後の課題

- ・ 継続的なニーズ把握による、利用者利便性のさらなる向上
- ・ 沿線地域への継続的な広報・周知
- ・ 日高地域 門別地域間の相互交流の促進

##### 自己評価のポイント

- ・ 厚賀市街地 - 富川市街地間の実証運行については、実施前に厚賀太陽線予約運行方式登録者への電話ヒアリングを実施し、利用者ニーズを把握した。厚賀太陽線予約運行方式の車両を活用することで、厚賀太陽線から乗り継ぎなしで富川方面へ移動できるようにした。
- ・ 賀張地区の予約運行方式については、実施前に住民アンケートを実施し、ニーズ把握等を行った。

##### 二次評価のポイント

- ・ 実証運行の利用実績が伸びなかったことから、ヒアリングやアンケートの対象数を増やすこと、またその方法等の検討を要する。
- ・ 周知・広報の仕方を見直し、自立性・持続性を持った事業になるよう検討されたい。